

こすど公民館報

発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月15日
印刷所 昭栄堂印刷所

三市中浦公民館大会に参加して 各市町村とも人的な問題で悩み 社会教育予算の大巾増額の要請も

公民館運営審議会委員 加藤 米二

亀田町々民会館において、来る十一月二十九日、五十三年度の三市中浦公民館大会が催され、公民館関係者百余名が参加しました。

司会者の挨拶、地元公民館長の歓迎の挨拶、来賓としての宮越町長、坂井町議会議長の祝詞があった。これからの展望と題しての講演が約一時間半にわたって行われました。講師は県社会教育協会常任理事増井三先生で、新潟県の各市町村に公民館を設置完了した昭和二十五年当時より今日までの推移を専門的な立場で人的な問題、施設の問題等を数字を挙げて説明を加えながら、多様化した社会情勢に対応する公民館の在り方、これにたずさるべき職員の数、また、各地域にある各種学校施設を社会教育面に開放すべき等の問題提起もありました。

午後一時より分科会があり、第一分科会のテーマ「住民の多様化する要求にどう応えるか」、第二分科会は「今日の公民館活動と課題」であり、第一分科会でありました。

各市町村公民館の活動の実情紹介から始まり、住民の多様化する要求に応えるための模索が活発に行われたのですが、何れの市町村も人的な問題でなやみがあり、社会教育費の増額を得て実践活動にあたる主事、職員が増員によりこれを充たすことが出来ることを理事者に理解してほしい意見を活動する各団体グループは自主的な運営の方向に指導することで成程人の不足をカバーされるのではないかと等々の道に關係する人達ばかりです。熱心な意見が予定時間一杯続きました。



手作りのタコをあげよう!! 親子工作教室のご案内

次の要項により、親子工作教室を行います。ふるってご参加下さい。なお、おともさんだけの参加も可能です。ぜひお父さん、お母さんとも一緒に下さい。タコ製作終了後、タコあげ大会を行います。

日時 十二月二十四日(日)午後二時三十分より
会場 中央公民館二階学習室
参加費 一〇〇円(親子で参加しても一〇〇円)
その他 道具等ははいりません。

主催 中央公民館

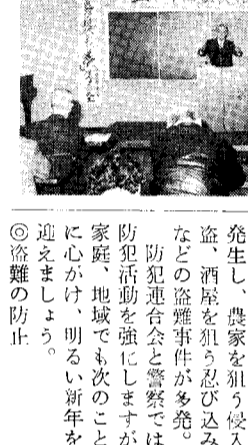
戸締りの仕上げに 一歩お隣りさん

歳末防犯運動実施中
歳末となり、あわただしい時期となりました。この時期には思わぬ事件や事故の発生が心配されます。

また最近、新津市内では十数件のあきす狙いが発生し、農家を狙う侵入盗、酒屋を狙う忍び込みなどの盗難事件が多発。防犯運動会と警察では防犯活動を強化していますが、地域でも次のことに心がけ、明るい新年を迎えましょう。

◎盗難の防止

- 戸締りをしっかりと。特に裏口、窓は厳重に。多額の現金は家に置かないように。
- 預金通帳と印鑑は別々に保管する。
- 金融機関の行き帰りやたぐみの所ではスリ、ひったくりに注意する。
- 自転車、自動車などのカギがけ励行。
- 少年の非行防止
- 深夜はいかぬ。無断外泊、喫煙などは非行の注ぎまり。子供の行動に注意。
- 万引きが多い。子供の持ち物や居室には適度な監視を。
- 学校のきまりを守らせる。節度ある生活を。
- 暴力の追放
- 暴力被害は泣き寝入りせず早く届出を。
- 暴力を一見したら「聞いたら」一〇番



年の瀬 おやまつしろ

もういくつねとお正月
子供が天使の声を歌って行く
シングルベルの鳴る街に
雪深い季節がくる
これから半年、雪に音が吸われる
早く来いお正月
子供が調子はずれの声をはり上げる
売り出しの街の中へ
又一つ年をとる年の瀬が
これから半年白一色の世界が来る
子供の声に
ふとこの年まで私は何をして来たか
ふり返らせる年の瀬

下越地区市町村公民館 職員研修会開催

十一月二十四、二十五の両日下越地区市町村公民館職員研修会が村杉の長生館で開催された。参加者約百名、遠くは岩船東浦よりはるばる来て盛会であった。

第一分科会は望ましい社会教育施設と職員体制問題提起者は小須戸町の問野館長で青年のボランティア活動が多いこと、また来館者として独立分館センターとしての独立分館等を望む町民の理解を請うに依つての行政担当者への理解の高まりを要請に依つての困難さも認めながら活発な会話は終った。

二日目の午後「信仰と人間愛」と題し新発田中高校校長高橋寛孝氏の講演があり生涯教育における宗教としての例証を引きなからのお話して此の世の苦しみがすくいとあると結ばれ聴衆に深かい感銘を与えて大会は有意義に終った。

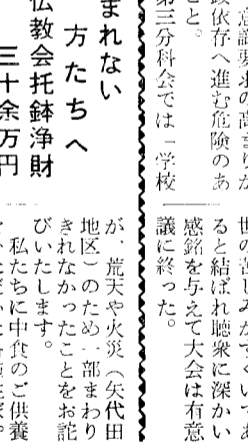
恵まれない 方たちへ 三十三万円 仏教会托鉢浄財

師走を告ぐる鈴の音、町の風物詩ともなった恒例仏教会の歳末助け合い托鉢が、全町五日間にわたって行われました。

あたたかい皆さんの心のもつた御喜捨は年を追うて増加しておられます。本年度の浄財合計三〇八八六〇円は、三十三日町長さんを通じ町の関係機関へ寄託されました。町内はもちろんです。世のお正月をお迎えになられるよう心よりお祈りしたいものであります。

なお、仏教会長の五十嵐義昭師は次のように語られておられます。

「おかげ様で今年も無事托鉢を修業させて頂きました。皆様のご協力を心よりお礼申し上げます。全町くまなくまわることが立前なのであります。



第7回町民元旦マラソン大会

自分の体力に合わせて
「ゆっくり走ろう会」開催
町民体力づくり第一弾
ふるってご参加下さい

<大会要項>
日時=54年1月1日
午前10時中央公民館前集合
コース=A・3km B・2km(体力に合わせて選ぶ)
注: 酒気帯びは事故のもと。厳禁します。完走してからゆっくり飲みましょう。
※ 全員も参加賞と記録証を進呈、甘酒も有り
主催=体育協会 後援=教育委員会

公民館の臨時休館 年末年始のお休み

左記のとおり、中央公民館を臨時休館いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

△記
五十二年十二月二十八日、五十四年一月五日まで
五十四年一月十四、十五日

小須戸雑記 護摩堂山と 金のにわとり

先般横川浜の吉田次吉氏から次のような話をお聞きしました。この話は知っていましたが、掘り出した人が横川浜の人だとは初耳です。興味を持って紹介したくなり、もう伝説的な話でもありますが、明治の頃、横川浜のある人が、新津の古道具屋とくんで、こっそり護摩堂山に埋めておいて、上小学校に「金のにわとり」と「刀二本」をならべたそうなんです。これが好評になり、遠近から好事家や道具屋が集まったので、警察でも調べておくれにゆかないので色々調べて、前記のようになした上で、さんざん叱られた上、留置場に入れられたという話です。夢があつて大変面白いです。

焼酎米がいまでも拾われて、たぬきときも小判でもでて来るのでは

なにかと夢を語られて、羽生田周助寺の安談に耳をかたむけた護摩堂山に弘法大師の弟子空法上人が修行した処で、たしかに寺が七十二坊とも三十二坊あったともいわれています。越後野志に東龍寺さんの石段は仏足石が彫られているが、今はみる事ができないとあります。

康和年間
築城 永正三年迄
一〇九九 一五〇六迄
平賀三河守(略)か
宮島三河守(略)か
栗田刑部
杉田清左衛門
村上義明
千坂撰津守
志田弥三郎
慶長二年迄新津に居るわが家系
主、落城はやはり平賀氏時代かとおもわれます。
東龍寺さんにも建武二年二月、平賀宝山義盛大居士の位牌があります。

停電のお知らせ = 12月22日(金) 午前8時30分~12時30分 矢代田・天ヶ沢・大沢・高沢

恒例の町議との懇談会行う

高校誘致など広範な話題で熱心な話し合い

午後からは白根老人クラブと交流会

午前町議会議員十二名が参加、全体会のおと四分科会にわかれ、次のテーマで話し合いが行われた。

- 高校誘致問題について
- 老人福祉について
- その他(福祉センターの利用も含む)

話し合いの概略は次のようであった。

○高校誘致は全町民の一大関心事で、特に話題が集中した。敷地は一万五千四百三坪、矢代田駅に近い山をけずった所である。

来る五十四年三月の県会において正式に上程し決定となる次第で、ほぼ小須戸町に九九%決定であるとの報告がなされたが、一同胸をなでおろした感があった。



なお、町当局の最善の努力を求め声が大きかった。また、建つからにはその高校を町全体として育て上げねばならない。それは町民の教育姿勢にあるということや、県立小須戸高等学校または若人にアピールして現代的な名前をつけるなどの話し合いに及び、いずれは高校も義務制になるのではないかなどと発展していった。

◆老人福祉としては、国民皆年金というが、その役場も一歩けんめいであり、議員もそれらについてバックアップするため地元住民との結びつきを大いに進めるなど、有意義な話し合いが行われ、両者とも心の通い合いを感じ、今後大きな期待と希望をもって散会した。

午後からは、白根老人クラブ(約百名来町)との懇談会が行われた。

白根側からは、小須戸老連の実態や機構、予算クラブ関係等の質疑が出された。小須戸側からは白根地区は人口も多く市自体が拡大し、連合組織を生かし、独自の活動を行って良き良きではないかと、敬老会の七十五才を七十才にできないか、

こどもたちに良い本を！

本はこころの栄養です

冬休み読書感想文を大募集

現代人は、読むことのできて書く能力が落ちてきているといわれます。これは電話の普及で手紙などを書くことが少なくなったことも原因となつていっているようですが、なんと読むことも本を讀まなくなつたことが一番の原因ではないでしょうか。

また、こどもたちについて見ると、映像文化(テレビ、マンガ等)の著しい今日、善悪の区別をカッコの良さでかんたんに判断していると思いませんか？

また物語に対する興味の深さをテレビなどから感じているでしょうか。いくら難解な事件でもあつて解決する、途中で見当がつかず、等々、しかし決してこれらの映像文化を全く否定するわけではありませんが、もう一度本の良さを見直していただきたいのです。

お父さんお母さんも昔に読んだ名作の感動を

また読んでおられることと思いますが、あの感動をこどもさんとう一度味わって見ませんか？

図書室には世界の名作全集などをそろえております。ぜひこどもさんと一緒にご来館下さい。

◆読書感想文募集

〆切〆月八日までに中央公民館事務局へ。原稿〆四百字詰め原稿用紙で二枚以内。内容〆児童向け図書。その他〆優秀作品は館報に掲載いたします。

マラソンと老化防衛

あれこれと一年がかりでようやくマスターした次第です。これ一年中老化防衛に取組むことができ、皆さんも健康と美容のために毎日リズムミカルのマラソンがおすすめです。竹上マラソン法をお教えします。ご希望の方は、おいで下さい。

日時〆十二月二十三日 十二時半〆一時半

会場〆中央公民館会議室

※竹のある方はご持参下さい。

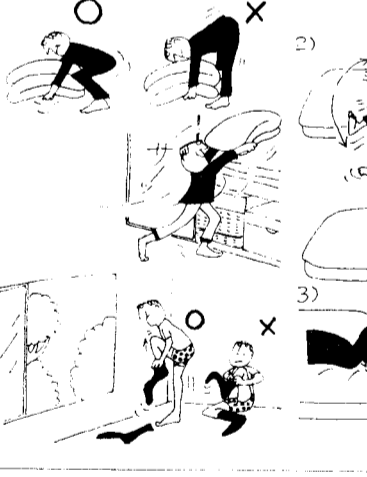
民俗資料の収集

このたび、昔の衣食住や生産業、社会生活等の民俗資料を広く収集いたします。

御寄附又はお預りいただきました資料は大切に保存し利用させていただきます。

収集等の御連絡については教育委員会まで御一報下さい。

(電話〆三三二二番)



明るい小須戸町は

まず健康から

〆町民体力づくりキャンペーン(は)〆

〆目覚ましトリム〆

みんなて入ろう！

傷害保険

スポーツ安全協会

スポーツ団体だけでなく、レク団体や婦人団体、地域のクラブ等の方々も十名以上のグループで加入できます。

●適用の範囲は

- 加入者の所属する団体の管理下における活動中の事故。
- 団体が指定する集合、解散場所と加入者の住所との通常の経路往復中の事故。

●保険期間

毎年四月一日より翌年三月三十一日まで。

●保険料(一人につき)

- 第一種〆レク団体、スポーツ等〆年額三〇〇円
- 第二種〆スポーツ競技を目的とした団体等〆年額四〇〇円
- A〆山岳会等〆年額四〇〇円
- B〆スキー、ラジビエ、サッカー等〆年額二八〇円
- C〆卓球、テニス、軟式野球等〆年額二〇〇円

●保険金額

- 死亡〆後遺障害〆三〇〇,〇〇〇円
- 通院〆日額一〇〇〇円
- 入院〆日額一五〇〇円

※詳細は、教育委員会事務局へ。電話〆三三二二番

キャンパ協会の始動！

レクリエーションの講習会を開催する

去る十月十八日に結成総会を行ったキャンパ協会は(木村祐三会長)は、毎月の例会でキャンパ理論や実践等の講習会を計画しているが、ほかにレク

分館だより

去る十二月十日、横川公会堂において、指人形劇が公演された。指人形劇は、横水地区の婦人部で計画されたもので、当日(日曜日)は会場いっぱいになり、大盛況であった。

その第一弾として今回のレク講習会が去る十月十二日、中央公民館三階において、教育委員会と共催で行われ約五十名が参加し歌やゲーム、フオーダンスなどを楽しんだ。

同協会は、自然に親しみ、体力を養成することにも自然の美しさ、厳しさを体験することを目的として、広く会員を募集中とのこと。

老連だより

去る十二月十九日、午前十時より、会場〆老人福祉センター

講師〆亀田寺住職

演題〆宗教と人生

◆学会傍聴

日時〆十二月十九日 午前十時より

会場〆役場三階議事場

内容〆一般質問傍聴

子どもクイズ

さあ、考えて！

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え〆住所・氏名・学年クラスを必ず書き、ハガキで送って下さい。

正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問 十二月は節足、一月は□と書きます。

二問 除夜の鐘は全部で百□つなします。

三問 十二月三十一日を□□□□といひます

お前〆□□□□といひます

前号の正解は

一問 九州 二問 ヒツジ 三問 六

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

矢代田 加藤あき子二年

中田 富美子二年

加藤 健一三年

若葉町二加藤まり子四年

一佐藤 峰子五年



購入図書

◇宇宙戦艦ヤマト 牧 美智留

◇たぬきのふるしき 舟橋 克彦

◇ネコのひみつ 今泉 吉晴

◇星とトランベツト 竹下 文子

◇ピクチャランド

◇全三十五巻(幼児向け) 集英社

中学生文芸

小須戸中文芸クラブ

やきいもや手につかぬほど熱くなり 和泉 桂子

大きなの中にぐつぐつ大根煮 高野真由美

空高く秋晴れ続きますと 高橋 恵子

秋晴れの山は茶色に染まりゆく 高橋 恵子

焼きいもも熱さも忘れかぶりつく 高橋 恵子

白鳥が翼休める北の国 鈴木 幸代

薄紅のコスモスきそう空の青 小見 健雄

水面に白き翼で飛ぶ白鳥 小見 健雄

焼芋の売声ひびく秋の夜 山田 夕子

枯れ尾花頭をさえて道しるべ 野崎由起子

湖に白鳥の群活気呼ぶ

南天の赤く色づく季節かな

秋晴れにこれぞチャンスと布団干す

十一月旬会報

小須戸町俳句同好会

町の灯村の灯それより高し望の月 太浪 林

秋深し正座の暮声もなし 林 林

幾曲りかして紅葉の山出る 松山 山

荷を解けば新干風の香りかな 松山 山

弟妹の亡兄を語りて夜長し 静花 山

子と鳩と遊公園冬温し 秀穂 山

コスモスや蝶一とひらの風となり 秀穂 山

うず高く寄せ山門の杉落葉 秀穂 山

壁虎し土蔵を守る花ハッ手 秀穂 山

串蛙の焼く灰の灰にあぶら落つ 香月 山

番小屋の取り残されて時雨けり 風北 山

夕風の空を響かす枯蓮田 石秋 山

霧遊ぶ梨樹すでももぎ終る 可津明 山

幼子がもろ手に菊をほづりぬ 富沙子 山

ガスタンクはつり白き刈田果て 良遊 山

年の瀬

我妻 清作

鈍色の雲の重なり流れゆき暮れつつ風花の舞ふ